

## まちの記憶よ、よみがえれ！ 軽便鉄道のモニュメント修復大作戦



塗装が落ちた壁画 汚れ落としは大変

メロープラザの周辺には、昭和42年まで日本一長い軽便鉄道「駿遠線」が走っていました。

この鉄道跡を、平成4～15年度にかけて自転車歩行者専用道として整備し、通学路をはじめ、ウォーキングコースなどとしても、幅広く活用されています。

道路のところどころには、軽便鉄道が走っていた当時を思わせるモニュメントがあり、目を楽しませてくれますが、最近では風雨

にさらされて激しく劣化していました。

このため、市は市民活動団体やボランティアの皆さんと協力して、この修復作業に取り組んでいます。

既に、機関車をモチーフにした壁画や、車輪を象ったモニュメントなど、10箇所以上の修復作業を行いました。

皆さん、額に汗を浮かべながら、ワイヤーブラシやサンドペーパーでサビや汚れを落とした後、ペンキを塗るなどして修復しました。

参加者からは、「軽便を懐かしむ人も多く、市外からも訪ねて来る方がいると聞きます。地域歴史として、守り、継承することが大切です。」と話していました。

南部地域では、メロープラザの整備をきっかけに、こうしたまちづくり活動の輪が広がっています。



ペンキ塗りはけっこう楽しい



色鮮やかによみがえりました



作業の後は皆さん清々しい笑顔になります